

殺虫剤

住化

スミチオン®水和剤40

MEP 40.0%

種類名/MEP水和剤

農林水産省登録/第8444号(住友化学登録)

毒性/普通物*

有効年限/5年

包装/500g×20、1kg×20

特 長

- 有機リン系殺虫剤です。
- 作用機作はコリンエステラーゼの活性を阻害し、殺虫作用を示します。
- 害虫に対して接触効果、食毒効果があります。
- 植物に浸透性があります。

適用害虫と使用法

使用にあたっては必ずラベルを読んで下さい。

作物名	適用害虫名	希釈倍数	10a当り 使用液量	使用時期	総使用回数*	使用方法
りんご	モモシクイガ アブラムシ類 ハマキムシ類 リンゴススムシ クワコナカイガラムシ	800～ 1200倍	200～ 700ℓ	収穫30日前 まで	本剤 3回 MEP剤 3回	散布
	ギンモンハモグリガ カメムシ類	800～ 1000倍				
なし (有袋栽培)	シンクイムシ類 クワコナカイガラムシ ハマキムシ類 アブラムシ類	800～ 1200倍		収穫14日前 まで	本剤 6回 MEP剤 6回	
	ナシチビガ ナシキジラミ カメムシ類 ナシグンバイ	800～ 1000倍				
なし (無袋栽培)	シンクイムシ類 クワコナカイガラムシ ハマキムシ類 アブラムシ類	800～ 1200倍		収穫21日前 まで	本剤 6回 MEP剤 6回	
	ナシチビガ ナシキジラミ カメムシ類 ナシグンバイ	800～ 1000倍				
もも	ハマキムシ類 シンクイムシ類 モモハモグリガ アブラムシ類	800～ 1200倍		収穫3日前 まで	本剤 6回 MEP剤 6回 [樹幹処理は1回]	
	カメムシ類	800～ 1000倍				
かき	カキノヘタムシガ フジコナカイガラムシ	800～ 1200倍		収穫30日前 まで	本剤 3回 MEP剤 3回 [樹幹処理は2回]	
	カメムシ類 イラガ類 ドウガネブイブイ成虫	800～ 1000倍				
	オオワタコナカイガラムシ若齢幼虫	800倍				
くり	クリタマバチ モモノゴマダラノメイガ	1000倍		裂果前、但し 収穫14日前 まで	本剤 4回 MEP剤 4回 [樹幹処理は1回]	

作物名	適用害虫名	希釈倍数	10a当り 使用液量	使用時期	総使用回数*	使用方法	
大粒種 ぶどう	ブドトラカミキリ フタテンヒメヨコバイ コガネムシ類成虫 アカガネサルハムシ ブドウスカシバ	800～ 1000倍	200～ 700ℓ	収穫21日前 まで	本剤 2回 MEP剤 4回	散布	
	クワコナカイガラムシ	800～ 1200倍					
小粒種 ぶどう	ブドトラカミキリ フタテンヒメヨコバイ コガネムシ類成虫 アカガネサルハムシ ブドウスカシバ	800～ 1000倍		収穫90日前 まで	[収穫終了後から 萌芽までは2回、 萌芽後は2回]		
	クワコナカイガラムシ	800～ 1200倍					
おうとう	ケムシ類	800倍	収穫14日前 まで	本剤 2回 MEP剤 2回 [樹幹処理及び灌注 処理は合計1回]			
稲	ニカメイチュウ第1世代	40倍	3ℓ	収穫21日前 まで	本剤 2回 MEP剤 3回 [種もみへの処理 は1回、育苗箱 散布は1回、 本田では2回]	空中散布	

使用にあたって

■使用上の注意

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
- 果樹のカメムシ類に使用する場合には、発生に応じて、所定範囲内で繰り返し散布してください。
- くりのクリタマバチの防除時期は羽化成虫脱出初期に樹全面に散布してください。
- くりのモノゴマダラノメイガの防除時期は産卵の初期、最盛期、末期に各1回、あるいは最盛期、末期に各1回散布してください。
- 本剤を大型散布機（ヘリコプターなど）で使用する場合は、「製品情報と注意事項」の見方、「空中散布、無人航空機（無人ヘリコプター等）散布・滴下に関する注意」をご参照ください。
- 本剤は自動車、壁などの塗装面、大理石、御影石に散布液がかかると変色するおそれがあるので散布液がかからないように注意してください。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意してください。
 - ①ミツバチの巣箱およびその周辺に飛散するおそれがある場合は使用しないでください。
 - ②受粉促進を目的としてミツバチ等を放飼中の施設や果樹園等では使用をさけてください。
 - ③関係機関（都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等）に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農業使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めてください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

■混用・薬害

- アルカリ性の強い農薬との混用はさけてください。ただし、ボルドー液との混用の際は使用直前に混合してください。
- りんごの旭種およびその近縁種には、他の有機リン剤と同様に薬害が出ることがあるので注意してください。
- ももの初期散布（5～6月）には薬害が出ることがあるので注意してください。
- なしの早生赤種には薬害が出るので使用はさけてください。

- あぶらな科作物には葉害を生じるおそれがあるので、付近にある場合にはかからないように注意して散布してください。
- くりを使用する場合、極早生種（森早生、豊多摩早生等）や樹勢の弱っている樹への散布および萌芽中期の散布は葉害のおそれがあるのでさけてください。
- 空中散布の場合、さといも、ソルゴには葉害を生じるおそれがあるので、付近にある場合にはかからないように注意して散布してください。

■蚕 毒



- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。

■水産動植物への注意

- 水産動植物（魚類）に影響を及ぼすので、養魚田では使用しないでください。
- 水産動植物（甲殻類）に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 空中散布で使用する場合は、河川、養殖池等に飛散しないよう特に注意してください。
- 散布後は水管理に注意してください。
- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具および容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

■安全使用上の注意

- 誤飲、誤食などのないように注意してください。
- 本剤の解毒剤としては硫酸アトロピン製剤およびPAM製剤が有効であると報告されています。
- 粉末は眼に対して刺激性があるので、眼に入らないように注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当てを受けてください。



- 散布の際は農業用マスクなどを着用してください。作業後はうがいをしてください。

■貯蔵上の注意

- 密封し、直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に保管してください。

本資料の記載内容は2023年1月17日現在の登録内容に基づいています。